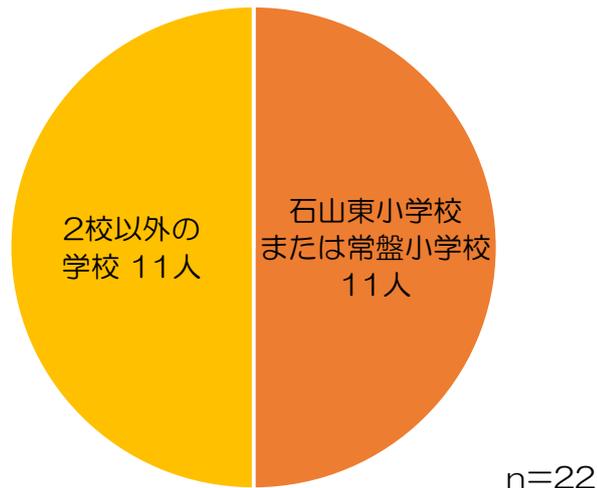


芸術の森小学校における
「新しい小学校になったことについてのアンケート」

教員 結果

【質問1】 芸術の森小学校に勤務される前の学校はどちらですか。

< 択一回答 >



【質問2】 (児童の様子の変化について)

芸術の森小学校が開校して、9か月が経過します。石山東小学校・常盤小学校当時や、開校当初と比較し、児童の様子はどのように変わりましたか。良い点や今後配慮を要すると思われる点等について、お答えください。

児童の様子・生活面や学習面に関すること

- 今までは許されてきたことが新しい環境下ではルールが変わってできなくなったりなど不満を口にしていたが、現在は変化を受け入れ始めているように感じる。緊張感をもって過ごしていた前期よりも後期は慣れなのか、生活面でのだらしなさや挨拶が適当になっている様子も散見される。
- 旧学校での友人から幅をひろげ、友達が増えたように感じる。一方で、一部の児童は旧学校にこだわり、イヤな雰囲気を出し続けトラブルを起こしている。
- 大人数になったことで、友達の広がりによる楽しさがある一方で、全体を統括していく上での難しさを感じる。長年通ってきた学校の生活様式や友達関係のしがらみなどがまだ根強く作用しているように思える。

- 開校当初より石山東と常盤の子どもたちが混ざりあって活動したり話したりする姿が多くみられる。人数が増えたことに良さを感じている子もいれば、仲の良い子と離れてしまった心細さや不安（授業についていけないか、質問がしにくい）を感じている子もいる。
- 元常盤小児童は慣れた様子。元石山東小児童は未だに慣れない様子も。学校規模の違いによる「授業や行事の雰囲気」の差異がどうしても大きく、そこが不安な児童が多く見受けられる。
- 両校から来た児童共に、友人関係などすぐに馴染んだと思います。
- 年度当初に比べ、学校のシステム・友達・担任に慣れ、自分らしく過ごすことができる子が増えた。統合相手の友達の様子に若干驚いている様子もありましたが、最近ではうまく関わることができるようになりました。
- 少数派の石山東小が初めのうち様子見している感じがあったが、わりとすぐ慣れてくれていた。4月当初は授業が成り立たないくらい落ち着きのない雰囲気だったが、1学期の終わり頃には集団としての意識が根付き、落ち着いて授業に参加できるようになった。
- 子どもの数が多くなったことで、友人関係が広がった。
- 施設や周辺的环境にも慣れ、安定して過ごしているように思います。統合前より人数が増えたことにより、友人関係のトラブルも必然的に増えていると思います。しかし、おおむね気のあう仲間を見つけ、休み時間等の時間に適切に関わっている様子が見られます。
- 単学級の学校と複数学級の学校が1校となることで、友達関係がより密になることで、高め合いや複雑な人間関係を学ぶ上で統合することは良いと考える。実際は上記の友達関係で苦労を乗り越え成長していく子が多いように感じた。4月が始まって保護者は不安を感じていたようであったが、子ども達自身は今までの人と人との関係作りの経験を使って必死に仲間づくりをしていた。素晴らしいことだと感じる。
- 4月当初に比べると学校への慣れが子どもたちの様子から感じられる。コロナ禍ということもあり、他学年との交流や全校が集まる行事などの機会が少しずつ増えていくことで、学校全体が一つになるような瞬間があるとよい。
- （1）学校へのあこがれ：一番慣れたのは通学の様子です。落ち着いて登校できるようになったと思います。（2）友人関係：スタートよりも仲良く過ごしているように思います。（3）生活面：大きなトラブルもなく、先生や新しい友人に慣れて楽しく過ごしています。（4）授業や行事の雰囲気・態度：スタートと変わらず、落ち着いて授業を受けている児童もいれば、明確に差がついている子もいます。意欲や積極的に行事に関わる態度はスタートから変わらず高い気がします。

指導や学校運営に関すること

- 常盤小→石山東小の人たちのことを知ろう、石山東小→自分たちのことを知ってもらおう、という思いがあり、相手を理解しようとする姿が見られた。お互いを知ることができる活動をカリキュラムに入れられると良い。
- 少しずつ慣れてきたように感じます。ワークスペースではなく壁がある方が落ち着くような気がします。
- 昨年度から児童数がかなり増えたため、子どもたちの様子を見ると窮屈さを感じたり刺激が多くなったりしている。1クラスの児童数がかなり多い学年も多く、活動の難しさもある。しかし、たくさんの友達の考えを聞いたり良さを感じ取ったりできる点もある。35人以下の学級になることを強く希望します。
- 生活面、友人との関わり方などがそれぞれ違うなかで、どちらかと言えば人数の少ない方の学級の児童がうまく適応できてない印象を受けた。しかし今は「〇〇小出身」という意識はほとんどない。今後は人数が増えたことによってか、未だに馴染めていない、居心地よく過ごせていない児童への対応が必要である。
- 子どもたちは学校に慣れてきていると感じるが、環境の大きな変化による不適應もあると思う。対応する人員がほしい。
- 開校当初と比べると新しい環境に慣れてきたように思うが、そこに至るまでがかなり大変であった。今も慣れてはきたが、集団として良いかといわれると必ずしもそうではないと思う。課題は山積みなのに対応する人手・時間が足りなすぎる。

【質問3】（教員の取組等について）

芸術の森小学校を開校するにあたって、開校前・開校当初から様々な取組があったことと思います。これまでの取組について、具体的にどのようなものがあり、どのように対応されたか、良かった点や今後の取組に向けた改善点などについてお聞かせください。

児童への取組

- 現地学習や宿泊学習に両校児童がともに参加した。
- 子どもたちにとって、前の学校と新しい学校とのルールや決まりの違いなどで、特に生活面で不安に感じることもあったかと思いますが、ルールの設定や子どもたちへの周知など、迅速に出来ていたと思います。
- 環境が変化したことにより、児童だけでなく保護者も漠然とした不安を抱えているようでした。日々、児童の様子を連絡帳や電話で伝えています。バスの待ち時間が長い方面の児童と、放課後 10 分程度学校内でゲーム等をして過ごしてからバス停へ送り届けています。その際に歩き方やバスの乗車マナーの指導ができ、安全な登下校へと繋がれていると感じます。
- バス通学の難しさを感じています。
- 開校前、数回に渡り開校に向けて会議を行ったり新校舎を見てイメージをもったりすることで子どもたちを迎える準備をすることが出来た。始業式前の事前登校日があったことで児童は安心して始業式を迎えられたようだ。今年度、保護者の方々に学校や児童の様子を見ていただく機会が少なく、難しさを感じた。
- 開校を祝う会。児童と一緒に作り上げるイベントで”新しい学校でのスタート”という意識付けができていた。
- コロナ禍ということもあり、子どもたち同士や保護者間での交流は、どうしてもうすいものになってしまった。
- 様々な取組がありましたので一つ一つ書くことはできませんが、何かをする時に教職員みんなを確認し、目的や方法を共有できたことがとても良かったと思います。また、子どもも保護者も環境の変化に不安を覚えているということも共有し、丁寧に対応しようと児童・保護者対応に臨めたことが良かったと思います。学級担任としては、学級が落ち着かない時や問題が起こった時、担任外の先生方や管理職の先生方が皆さんで助けて下さりとても心強かったです。

学校づくりの取組

- カリキュラムの細かな共通理解、情報共有、学校としての児童のあり方（授業・生活・登下校）。
- 良かった点は前任校やそれぞれ2つの学校の良さを取り入れながら開校に向かうことができた。委員会のクラブの設置の仕方、一年間の活動や分担等。
- 学級編成、児童の様子、情報の交流、行事のすり合わせ、物品の確認、カリキュラムの編成など様々あった。定期的に2校で打ち合わせをしたり、目指す学校（目標）が共有されていたりしたのが良かった。
- 新しい学校を作る上での校内外におけるルール作りが大変であった。担当の方の負担がかなり大きいと感じた。

事務的な取組

- 開校にあたって、備品整理、片付け作業を教職員で分担して計画的に進めることができたのが良かった。しかし、作業量が膨大で大変であった。また、備品が廃棄なのか持っていく物なのかなどの把握も困難であった。
- 素晴らしい先生・職員集団で、ゼロから様々なものを生み出していることに感嘆いたします。しかし、いろいろなことが読めないなかでは最低限のことに絞る「やらない」という選択も必要だったと思います。自分も含め複数名（知る限り）が疲弊しています。先生が疲れていて子ども達に良い影響があるとは思えません。
- （1）開校に向けての初度調弁の整備（2～3週間以内での備品および消耗品の予算執行、大型備品の搬入、設営）（2）機械、器具、設備説明にかかる立ち合い（初期不良時の修繕を含む）、テストラン（3）ごみ収集日の打ち合わせとルート、時間の交渉（4）統合先の学校との児童引継ぎ…どれも日常業務後に参加のため、統合校の先生方へご苦労をおかけしてしまった。多額な調度金を限られた日数で執行するのは、事務官への負担が大きすぎるように思います。欠品等もあったので、もっと早い時期（前年度あたり）から担当者同士で相談ができると良いのですが…。人事発表日前から業務内容を知りたかったです。

その他

- 自分は4月から勤務した身なので、石山東小や常盤小の先生方がほとんど対応して整えてくださっていたルールに乗っただけである。
- 申し訳ありません。途中から転勤だったので開校前の取り組みを把握していません。開校当初からのコロナ対応を含めた様々な取組に対して、学校全体が協力的な態度で臨んでいてとても良かったと思います。今後学校のメンバーが変わってもこの文化が続くと良いなと思います。
- 開校に関しての諸準備はほとんど両校の先生方にやっていただいたものであり、スムーズな開校のスタートはその先生方のお力によるところが大きいです。

【質問4】（その他）

質問2・3のほか、学校統合についてご意見等ございましたら、ご自由にお書きください。

主な意見

- 人事に関して、2校が統合するので、諸対応に尽力する教頭の負担は今までの2倍以上に膨れ上がっていた（統合加配で+1名の担任外はあてがわれているが）。そこで、例外として18学級以上に配置される「主幹教諭」を、教頭補佐の意味で配置されることで（出来れば前任校の方）よりきめ細かな学校運営、校長を助ける存在となると考える。
- 学年が落ち着くまでの数年は、人手をこれでもかと厚くするべきです。または業務委託ができるところはして頂きたいです。開校業務の忙しさと子どもの不安定さ、どちらが先なのか影響しあっているかも分かりませんが、どちらかだけでも軽くなればもう少し違うのかと思います。
- 統合にあたって、もっともっと職員やサポート等、人員を増やしてほしいです。とにかく人の手が足りていません。子どもをみてくださったり、話を聞いてくださったりする方、大人の仕事を一緒にしてくださる方、きてほしいです。
- 開校やその他の仕事の量を考えてみても職員の数が足りないと感じる。児童の実態、児童数、日々の保護者対応など、たくさんの手や時間を必要とする。来年度からでも35人学級としていただけるよう、強く願っている。また、他の学校では、3～4年生でも外国語活動等で専科指導を行っていると聞いている。たくさん目で子どもたちを育てていく学校になれば、子どもも保護者も今より安心できる環境になって行くと思う。ぜひお願いしたい。
- 学校統合は子どもにも親にも大きなストレスがかかると思います。実際に発達に偏りのあるお子さんは変化についていけず、落ち着かない日々を過ごしていました。そこで、無理なのかもしれませんが、統合後しばらくの間（2～3年）は学級の定員を少なくし、手厚くケアできる状況ができればと思います。